

## 宿泊体験学習 石巻市立門脇中学校を訪問 6月28日(水)

2年生は、宿泊体験学習で石巻市立門脇中学校を訪問しました。東日本大震災でさまざまな体験をされた8人の先生方のもと、8グループに分かれ車座セッションが行われました。先生方は、震災当時の貴重な写真や映像とともに、当時の様子を丁寧に話して下さいました。「自分が生きている意味を考えて下さい。」という言葉が印象的でした。



その後、大内校長先生の避難所シミュレーションが行われました。私達が事前に考えておいた避難所設営について、細かくアドバイスを下さいました。

この日教えて頂いた「てんでんこ」とは、「あらかじめ震災がおきた時の互いの行動をきちんと話し合っておくことで、離れ離れになった家族を探したり、とっさの判断に迷ったりして逃げ遅れるのを防ぐことが第一である。」という意味です。改めて「自分たちのできることは何だろう?」ということを深く考えさせられました。校長先生から「ふるさと栃木の魅力は?」と問われ、私達は改めて考えてみました。栃木の魅力を知ることで、「ふるさと栃木を守ろう」とする意識をさらに高めていきたいと思います。



2日目は気仙沼の地福寺のご住職による講話を頂きました。被災された方々のご位牌とご遺影が並んだ部屋を見せて頂き、この震災の残酷さを改めて感じました。その後、全員でさつきの植樹を行いました。10年後、20年後とすくすくとこの地で成長してくれることを願います。

